

第110回「市民糖尿病教室」報告

平成29年8月19日(土)午後1時30分より、佐賀市医師会立看護専門学校に於いて、第110回市民糖尿病教室が健康増進佐賀市民会議の主催で開催され、110名の参加者がありました。今回は佐賀大学医学部附属病院腎臓内科の福田 誠先生にご講演頂きました。

以下、福田先生より講演の趣旨をご寄稿頂きましたのでご紹介致します。

◇演題『糖尿病と慢性腎臓病』

佐賀大学医学部附属病院
腎臓内科 福田 誠 先生

この度、第110回市民糖尿病教室にて「糖尿病と慢性腎臓病」という題名で講演を行わせていただきました。糖尿病には様々な合併症が知られていますが、糖尿病性腎症は透析療法や腎移植が必要になるだけでなく、心血管疾患の発症に密接に関与している疾患です。

慢性透析患者数は年々増加しており、全国では2011年に30万人を超え、2015年末には32万人に達しています。1998年に糖尿病性腎症が透析導入原疾患の第一位となり、糖尿病性腎症の割合はここ数年横ばいで推移しているものの2015年末の調査では全体の38.4%を占めています。佐賀県の現状としては、年間透析導入患者数は300人前後で推移し、2016年末の慢性透析患者数は2485人であり、そのうち糖尿病性腎症は40%を占めていました。

昨今、糖尿病性腎症重症化予防プログラムが国を挙げて取り組まれています。佐賀市でも佐賀市医師会会長 上村春甫先生、佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西慶三先生をはじめとして、看護師、保健師、栄養士など多くの医療従事者が病院未受診者の早期受診や重症化予防に取り組んでいます。

今回の講演では、①腎臓の働き ②慢性腎臓病とは ③慢性腎臓病と合併症 ④特定健診の重要性 ⑤糖尿病性腎症重症化予防の取り組み ⑥食事療法 ⑦薬剤・健康食品に関して といった内容をお話し

させていただきました。



【講演される福田 誠先生】

腎機能が低下している場合、減量すべき薬剤や慢性腎臓病急性増悪・薬物中毒症状が出現する薬剤が多数存在します。お薬手帳にCKDシール(図1)を貼付することで、かかりつけの医師や薬剤師が患者様の腎機能を把握でき、過量投与や禁忌薬使用を予防することができるのではないかと考えています。

慢性腎臓病は成人の8人に1人が罹患する新たな国民病と認識されており、その最大の原因である糖尿病性腎症重症化予防に医師会の先生方と連携し取り組んでいきたいと思っております。

末筆になりましたが、佐賀市医師会会長 上村春甫先生、講師として推薦いただきました横尾大輔先生、並びに座長の労をお取りいただきました前山英彦先生に心より感謝申し上げます。

年/月/日	2016 / 1 / 20	2016 / 5 / 18	2016 / 5 / 18
クレアチニン (mg/dL)	1.11	1.08	1.21
eGFR (ml/分/1.73m ²)	50.9	52.5	46.3
カリウム (mEq/L)	4.2	4.3	4.6

施設名・連絡先 佐賀大学病院・0952-31-6511

(図1)

第110回「市民糖尿病教室」報告



【講演風景】



【尿糖検査】



【モデル食の展示】



【血糖検査】

第110回 市民糖尿病教室

日と き 平成29年8月19日(土) PM1:30~
 日と ころ 佐賀市医師会立看護専門学校
(佐賀市駅前2番11号 ☎31-1414)

入場無料
※当日受付です
 尿糖・血糖検査 PM1:30~2:10
※糖尿病の早期発見は、まず尿糖 / 尿に血糖反応 / 尿糖と尿糖とある人でも、尿糖にのみ……？
無料です!!

講演 「糖尿病と慢性腎臓病」
 PM2:15
 講師 佐賀大学医学部腎臓内科
 助教 福田 誠 先生

主催 / 健康増進佐賀市民会
☎31-1414 (佐賀市医師会事務室内)

お申し込みは、お申し込み用紙を、佐賀市医師会事務局へお送りください。

恐いのは油断、中断 素人判断です!